

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	家庭総合 明日の生活を築く	家総 304

1 内容

学習指導要領との対応

学習指導要領の主旨を踏まえ、基礎・基本の知識や技術について、総合的・体験的・科学的な習得がしやすいように配慮し、人間の生活を時間軸と空間軸からとらえられるよう工夫している。

「人の一生と家族・家庭」「子どもや高齢者とのかかわりと福祉」に関する内容は、「人とかかわって生きる」として、各ライフステージの特徴と課題を時間軸に沿って理解できるようにしながら、異世代の人びとと交流し合い、学び合いながら共に生きる生活をめざす視点からとらえ、乳幼児とのふれ合い交流や高齢者へのインタビューなどの体験学習や、生徒に身近な事例を取り上げ、興味・関心をもって学習に取り組める場面や導入を工夫している。

「生活の科学と環境」の内容は、「生活を営む」として、生涯を見通した各ライフステージの衣食住の生活を科学的・総合的に理解させる視点からとらえている。実習例は、実習する視点が明確で、生徒に作ってみたいと思わせ、応用・発展もしやすいものを取り上げている。また、生活と環境とのかかわりも具体的に記述しており、高校生が身近に実践できる。

「生涯における経済の計画と消費」「生涯の生活設計」は「生活をつくる」「持続可能な社会へ向けて」として、家計と経済生活の関係を理解し、消費行動・環境、ライフスタイルを考え、自分の生活を設計するという視点から、ケーススタディを随所に取り入れ、高校生の日常と関連しながら学ぶことができる。

「ホームプロジェクト」は、学習内容とリンクした多彩な案を例示し、生徒が実践しやすいよう配慮している。

生徒の学習状況、社会状況との対応

小・中学校の家庭科教科書を発行しているので、それぞれの学習状況を踏まえた題材や内容が適切に取り上げられており、記述のしかたも含めて小・中・高校の系統性がはかられている。

少子・高齢社会、男女共同参画社会、国際化、情報化など社会の変化を取り上げ、学習指導要領で強調されている青年期の自立や職業選択、男女の平等と相互の協力などにつながるような配慮がされている。地域・社会の暮らしに参加し、広げる目を培えるように、記述を工夫している。

「命と暮らしを守る」という教科の特質により、全章を通して、安全面・防災面の記述を厚くしている。さらに東日本大震災に対する課題と対応についても高校生の視点で考えられるようにしている。世代、文化をこえて、人とつながるように人間中心の視点を重視している。

2 分量・構成

ストーリー性のある構成

全体を学習指導要領に合わせ、4部構成として、内容ごとに章に分けて配列しており、ストーリー性のある展開ができる。

冒頭の口絵は、学習内容を概観させるとともに、生徒の自立へと促す、家庭科からのメッセージと位置付けている。教科書の最終ページは「キャリアをひらく」として、いろいろな職業や生き方の紹介を示している。

指導しやすい、適切な分量

項目ごとに見開き(あるいは1頁)単位として、授業や定期考査で使いやすいようにまとめている。

調理実習も1題材・1見開きとなっている。完成図は全頁大の写真を使って掲載し、また調理段階も全て写真を用いて、実習全体の流れのイメージをつかみやすいものになっている。

それぞれの学習項目の特性や必要に応じて、図や写真、資料、コラムなどを取り上げているほか、家庭総合の特質から実践的、体験的な学習活動を充実させており、4単位の学習が円滑に行えるための、分量や配分のバランスがよい。

3 表現・表記・指導に対する工夫・留意点

生徒の学習意欲を高める表現

高校生になじみやすいイラストや鮮明な写真を掲載し、複数のキャラクターによる進行で、生徒の学習意欲を高めるように工夫している。

タイトルはほぼ、高校生への投げかけや疑問形の形をとっており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮している。

生徒の問題解決能力を育む課題

「やってみよう」「考えよう」「調べよう」などの問題解決学習の箇所がマークで示され、生徒の思考力・判断力・問題解決能力・コミュニケーション能力を育てる課題が随所に掲載されている。

漫画の吹き出しを用いたロールプレイングや、いす取りゲームから格差社会を考えさせる課題、家族や高齢者を扱ったメディア(映画や本)を調べてみよう、など多様な学習方法と課題を取り入れている。

実際の給与明細、求人票や、「東日本大震災での仮設住宅＝まちづくり」や多様な家族関係などの事例を掲載し、また課題解決の手立てとして両論併記をするなど、生徒の意見や考えを引き出すことができるよう工夫している。